

運用指針

第2条③

供用までの期間を短縮したことによる費用の縮減

中部横断自動車道(増穂<sup>マスホ</sup>IC～南アルプス<sup>ミナミ</sup>IC)の早期供用

# 中部横断自動車道(増穂IC<sup>マスホ</sup>～南アルプスIC<sup>ミナミ</sup>)の早期供用

## 当初計画

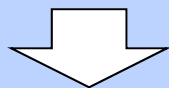
国土交通省へ委託している国道併設の高架橋工事を引受け後、舗装・施設工事の計画

### 【①国土交通省委託工事区間の着手時期】

- ・委託協定により平成18年9月30日予定

### 【②舗装・施設工事】

- ・橋面上での床版防水工、レベリング、表層工事施工にあたり、進入路と施工ヤードに制約あり
- ・併設国道の交通規制が必要で、45日間で計画



供用予定日:平成19年3月31日

## 経営努力による変更

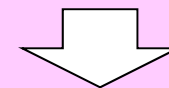
早期供用のため工程短縮の取組みを行った

### 【①国土交通省委託工事区間の着手時期】

- ・早期に工事着手できるように国土交通省と協議し、平成18年8月19日に準備工事(測量)を開始

### 【②舗装・施設工事】

- ・会社主体の工程調整会議において、各工事における日々の施工箇所の確認、進入路および通行帯の確保等、工程の進捗を図るための調整を行い、50日間の工期短縮
- ・道路、交通管理者との協議により、カバー付のオーバーハング車により橋面上から作業を行い、交通規制を回避し30日間に変更



供用日:平成18年12月16日  
(105日の早期供用)

# 中部横断自動車道 (増穂IC～南アルプスIC)位置図

## 中部横断自動車道(増穂IC～南アルプスIC)の路線概要

- ・一般国道バイパス上に建設されており、延長6.2kmのうち、橋梁延長が89%(5.5km)を占めている。
- ・山梨と静岡を結ぶ一般国道52号(甲西バイパス)の代替ルートとして、静岡市～増穂町間約59kmを国土交通省とNEXCO中日本において事業中。



## 早期供用に向けた全体マネジメント

・H18.7頃、全体工程のクリティカルである国交省委託区間の着手時期を前倒しできるか検討・協議を実施

・H18.7下旬、国交省施工区間の着手時期の見通しが立つ  
※H18.9末 → H18.8中旬（約40日短縮）

・H18.8月上旬において、会社の事業関係者による工程検討を実施

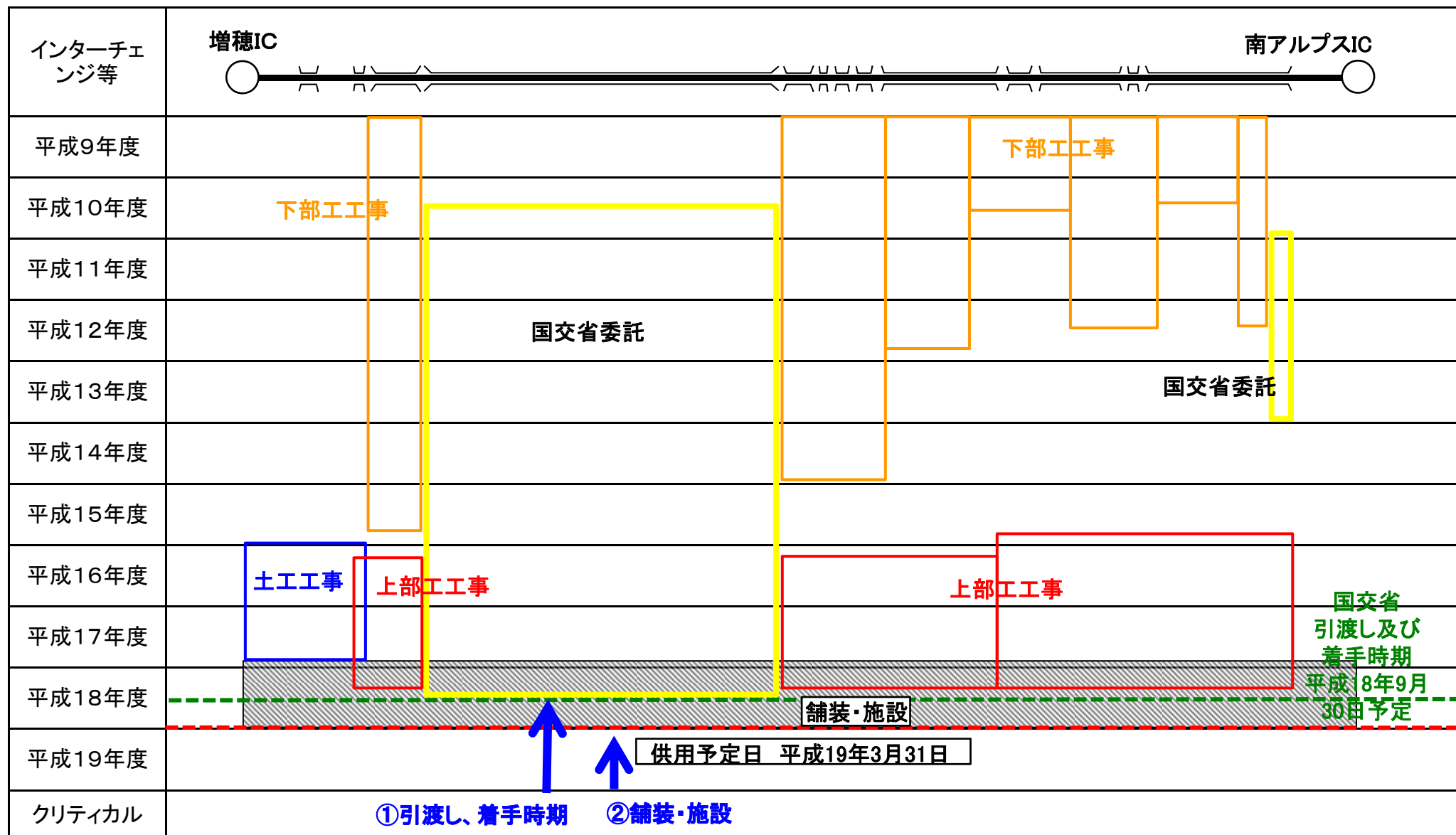
・橋面施工のきめ細やかな工程調整、  
床版防水工の施工班増による工程短縮  
（約50日短縮）

・上空作業に伴う交通規制を回避することによる  
施工効率の向上（約15日短縮）

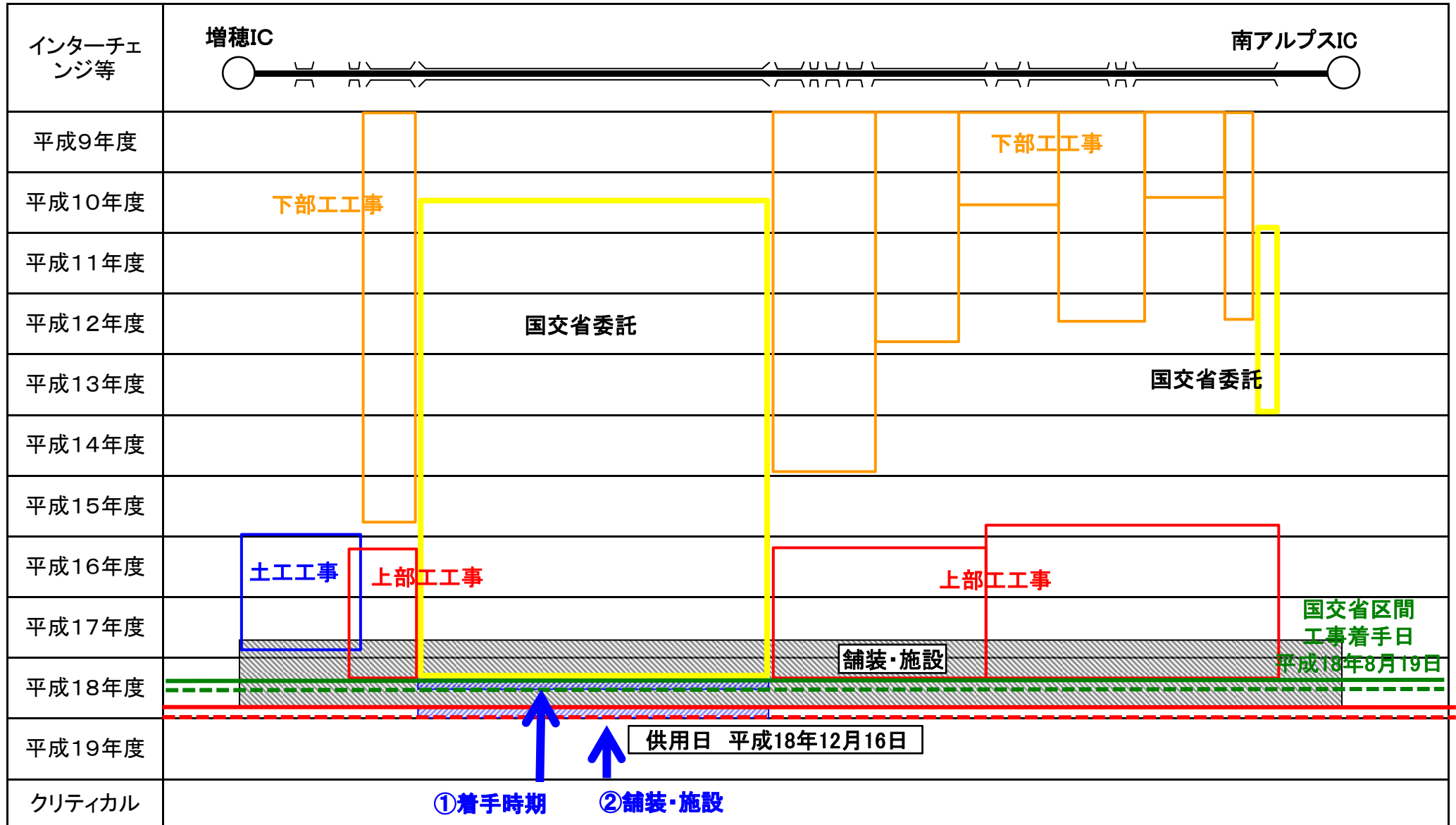
・H18.12を完成目標に、関係者協議、工事等に取り組む

全体マネジメントを行い、早期供用が実現（105日間）

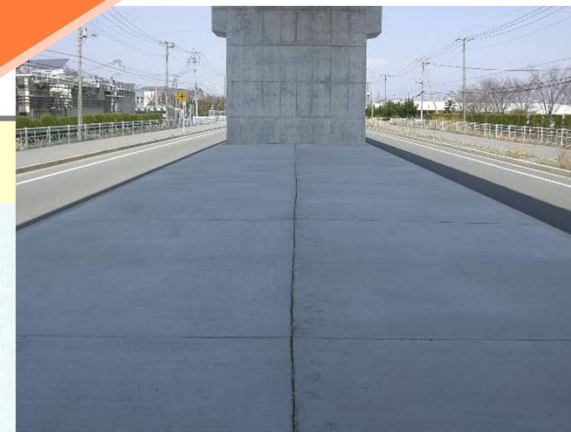
# 当初工程(中部横断道 増穂IC～南アルプスIC)



# 実績工程(中部横断道 増穂IC～南アルプスIC)



## ①国土交通省委託工事の引受時期の短縮

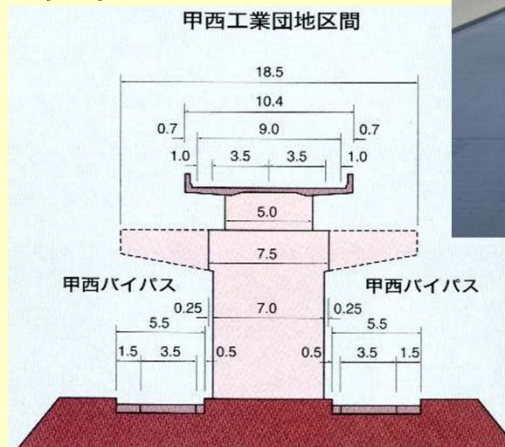


### ①橋梁工事の国土交通省からの引渡し方法の見直し

#### 【当初の引渡し時期の設定】

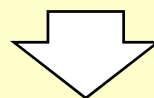
国道52号(甲西バイパス)と中部横断自動車道の併設区間の建設に伴う協定に基づき設定

- ・第11条 受託工事のしゅん功期限  
⇒平成18年9月30日

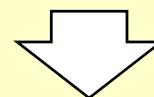


#### 【工期短縮へ向けた協議】

- ・早期工事着手の提案
- ・現地立ち入りが可能な状況を確認し、速やかに工事を着手できるよう協議



平成18年8月19日より橋面の準備工事(測量)に着手し、早期に舗装等工事が着工可能となる



**40日の工期短縮**

## ②舗装・施設工事の工程短縮

### ②会社工事(舗装施設工事等)の工程調整

○床版防水工の施工班増と狭小な施工ヤードでの施工におけるきめ細やかな工程調整

供用のクリティカルとなる国交省委託区間において、床版防水工の施工班を増加し、工程短縮を行った。また、当該区間はほぼ中央に位置し、床版防水工・レベリング・表層工を施工するにあたり、前後する工事において、進入路の制約があるため、会社が主体となり工程調整会議を実施し、各工事における日々の施工箇所の確認、進入路及び通行帯の確保、工事車両台数の把握と移動経路等の調整を行った。

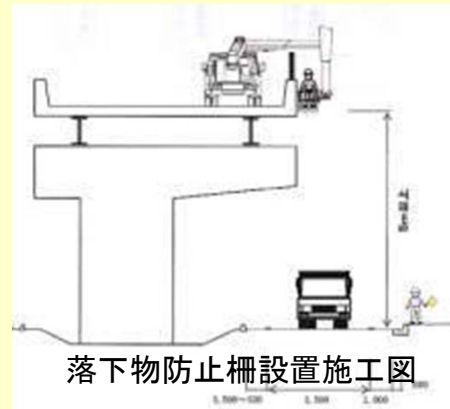


50日の工期短縮

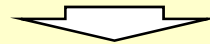
○落下物防止柵設置工事において必要となる交通規制を回避したことによる施工効率の向上

施工にあたって、道路管理者、交通管理者と協議し、オーバーハング車に落下物防止カバーを設け、作業箇所下に監視員を配置することで、並行道路の日々の交通規制を回避することができた。これにより、日々の規制の設置・撤去に時間を拘束されることなく、落下物防止柵の作業時間の効率化が図れた。

(実作業時間 10:00~16:00  
⇒ 9:00~17:00 1日あたり2時間の増)



15日の工期短縮(当初:45日⇒変更後:30日)

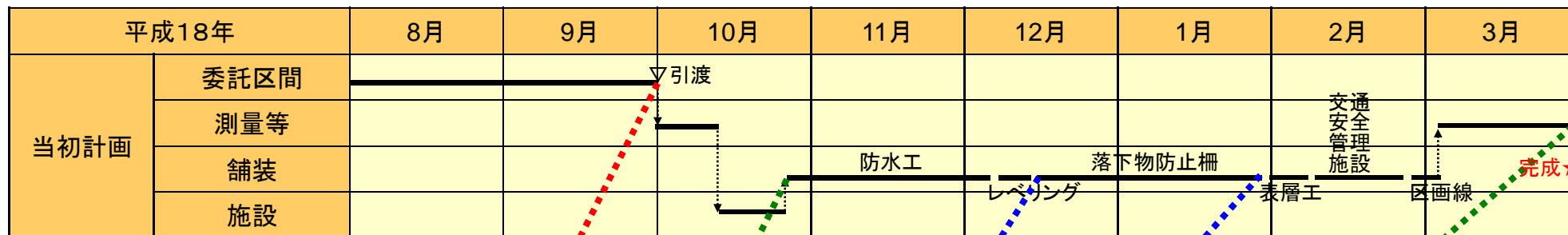


65日の工期短縮



# 工程短縮

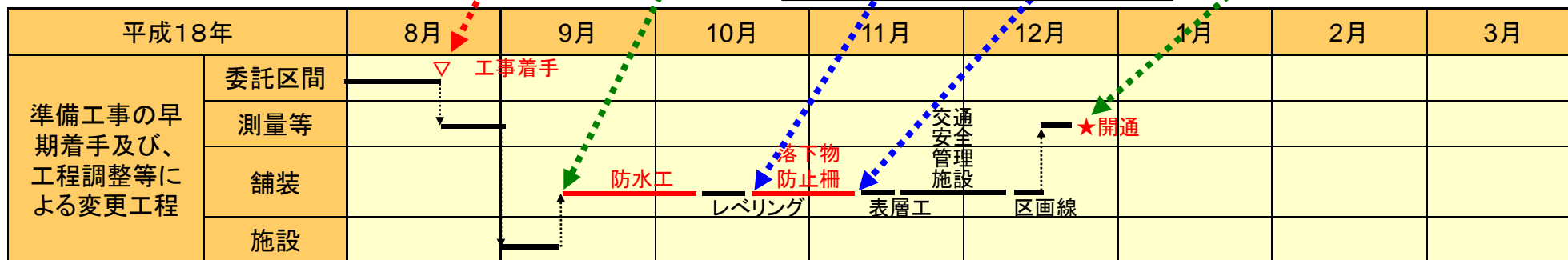
増穂IC～南アルプスIC間のクリティカルとなる施工区間における工程表(国交省委託区間のうちの800m)



①協議により橋面の準備工事を開始  
(40日の短縮)

②-1床版防水工の施工班増と、狭小な施工ヤードでの施工  
におけるきめ細やかな工程調整(50日の短縮)

②-2協議により交通規制を回避したことによる施工効率の向上  
(15日の短縮)



**全体で105日間の短縮**